

◆◆◆◆ 令和3年 第1回定例会賛否一覧 ◆◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致で可決です。

議案等の内容	議員名	渡邊 定之	類瀬 光信	長尾 式宮	松下 哲也	熊谷 善行	鈴木 裕美	深見 迪	本多 耕平	黒沼 俊幸	鴻池 智子	後藤 勲	菊地 誠道	結果
議案第92号 公の施設に係る指定管理者の指定について		×	×	○	欠	○	×	×	○	×	○	○	○	原案可決
意見書案第1号 高齢者の医療費窓口負担の現行1割の継続を求める意見書		○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×		原案可決
意見書案第2号 高齢者施設と医療機関の職員や入所・入院者全員を全額国費で一斉・定期的検査を求める意見書		○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×		原案否決
意見書案第3号 高齢者施設と医療機関への減収補填、介護・医療従事者に慰労金支給を求める意見書		○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×		原案否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、可否同数以外の採決には加わりません。)

意見書

次の5件の意見書が提出されました。

第1号(可決)

◆ 高齢者の医療費窓口負担の現行1割の継続を求める意見書

年収200万円以上の約370万人を対象に医療費の窓口負担を、現行1割から2割に引き上げることに反対する内容です。日本医師会も反対しています。これ以上高齢者に負担増を押し付けることに反対した内容です。

第2号(否決)

◆ 高齢者施設と医療機関の職員や入所・入院者全員を全額国費で一斉・定期的検査を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大により、医療機関は危機的状況を脱していません。釧路市の病院へ通院する町民も少なくありません。町内の病院や高齢者施設も苦しい経営を余儀なくされています。予防や感染を防ぐためにも全額国費で一斉・定期的にPCR検査を求めたものです。

第3号(否決)

◆ 高齢者施設と医療機関への減収補填、介護・医療従事者に慰労金支給を求める意見書

すべての病院、診療所、介護など高齢者施設への減収補填を行うこと、医療従事者や介護・障害福祉サービス事業所の職員らに慰労金を支給することを求めたものです。

第4号(可決)

◆ 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

標茶町のような過疎地域は、広大な自然、食糧の供給、国土や自然環境の保全、自然災害の防止など大きな役割を果たしていることを踏まえ、新たな過疎対策法の制定にあたり、過疎地域が持続的に発展していくよう国家的課題とするよう要望したものです。

第5号(可決)

◆ 不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

平成30年には、16人に1人が体外受精で生まれたというデータがあります。経済負担が大きい不妊治療について、保険の適用の範囲を広げることが要望したものです。